



放送大学埼玉学習センターだより

さきだま

2018年春号 (通巻41号)



2018.3.25
生涯学習奨励賞授与式



埼玉学習センター外観



2018.4.7 入学者の集い



2018.2.18
3.11復興支援チャリティー・コンサート



所長のひと言



デカルトは、少しでも疑うことができるものはく全面的に虚偽>である、としたすえに(方法的懷疑)、有名な「われ疑う(考える)ゆえに、われ在り」というく絶対的な真理>に到達した(『方法序説』)。ということは、途中で「真理性を疑われて、容赦なく捨てられた」もののなかに、神の存在(神はいる)が入っていたのだ。ということに(恥ずかしながら)最近気がついて、デカルトは当時の堅固なキリスト教社会のなかであって、とんでもない革命思想の持ち主だったんだなあ、と改めて感心するこの頃である。

在学生からの寄稿



関東の名峰が一望できる窓（自分再発見の窓）

情報コース 高橋 三夫

今、放送大学埼玉学習センター内の図書館でこれを書いている。今日は、晴れているが風も弱く名峰群は残念ながら見られない。いつもなら、此処の窓から、埼玉、群馬、栃木の各県に連なる山々が一望できる筈だ。北側には日光連山から草津の白根山、西側には浅間隔から雲取までの一大パノラマが広がっている。

埼玉県に住んで居ながらも、意外とこれらの山々のことを知らない人も多いのではないと思われる。特に「さいたま市」はその殆どを一望することができる絶好のポジションにある。

日光といえば、東照宮、中禅寺湖、「男体山」。そこから左に、国定忠治といえば「赤城山」。さらに、一ノ倉沢(800mの岩壁)の「谷川岳」。スキーでおなじみの「苗場山」。ワカサギ釣りの「榛名山」。「草津白根山」はつい先日爆発したばかり。「浅間山」は今でも白煙をあげ続けている。「武甲山」はセメント材の切り出しで見ても無残。「雲取山」は、皇太子ご夫妻の登山で山頂までがかなりきれいになった。

勉強や読書しながら、これらの山々が楽しめるのだから随分ぜいたくな話だ。さらに、眼下には大宮駅を発着する「スーパーエクスプレス」たちが彩りを飾る。アーバンパークライン、東北線、高崎線、北海道・山形・秋田・東北・上越・長野・北陸の各新幹線(モスラ型からドナルドダック型まで)とニューシャトル。此処は、山々の大自然と新幹線の最新技術がみごとに「コラボ」している。

今、2025年問題が騒がれているが、第一線をリタイヤした後は、此処でもう一度学びなおし、自分自身を再発見してみたら如何だろうか？窓からチョット右を覗けばガマの油の「筑波山」、な・なんとトイレの窓からは超名峰「富士山」がズドンと構えている。放送大学は、教養学部のみだが、教科は300科目(徒然草からニュートリノまで)以上あり、「なんでも来い」となっている。



3.11を語る・伝える PartIV 震災復興支援「ハナミズキのみち」 チャリティーコンサート

むぎの会 福盛田恵子

平成30年2月18日(日)、8階講堂・多目的室で開催。200人もの方々が参加してくださいました。



プログラム1部…歌と朗読で綴る「ハナミズキのみち」映像(絵本から・陸前高田市ハナミズキロードの進行状況)と照明の中で、福井克明氏の歌と朗読に吸い込まれる。

2部…対談 福井克明氏&浅沼ミキ子氏 歌「ハナミズキのみち」の作曲者と作詞家が歌に込めた思いを語る。

3部…福井氏の指導と指揮により参加者全員の合唱。演奏:Wienerwald Musikfreunde。「まちのひとたちがもういごと つなみで かなしむことがないように ぼくは きになつたりはなになって みんなを まもって いきたい。」

未来へ向かって、尊い命を守る思いを共に。テレビ局や新聞社の取材も入り、その後広く報道されました。

会場に中学生が作った布芝居「ハナミズキのみち」や小学生が描いた感想画も展示し、次世代へ語り継ぐ実践も紹介。

福井氏指導合唱団、埼玉学習センター、埼玉同窓会、サークル(Wienerwald Musikfreunde、アンチエイジングダンス&ソング)等、多くの皆様のご協力で、「3・11を語る・伝える」目的が達成されました。感謝申し上げます。



Mさんとの出会いに感謝

心理と教育コース 佐藤 マサ子

入学したての頃、パソコンサークル「コンパス」に見学に行きました。実習室では、皆パソコン画面に夢中で話しかけづらい雰囲気でした。諦めて帰ろうとしたその時、一人の女性が「見学ですか」と声をかけて下さいました。それがMさんとの出会いです。慣れないパソコン操作に奮闘する私に、Mさんは根気強く教えてくれました。私もご好意に応えたいと毎日復習を欠かさずに必死で取り組み、沢山のことを教えて貰いました。



コンパスでの時間は、とても楽しく充実したものとなりました。しかし、そんな時にMさんが大学を辞めることになってしまいました。とても残念で、心にポッカリ穴が開いたようでした。すっかりやる気がなくなってしまう私に、Mさんは「これからは教える方になって頑張りなさい」と別れの言葉をかけてくれました。

それからしばらく経ったある日、通信指導に切手を貼っている学生さんを見かけ、思い切ってサークルにお誘いしてみました。パソコンは全くできなかったのですが、今では大学の手続きを始め、メールでのやり取りができています。ますます楽しくなるとおっしゃっています。それを聞きとても嬉しく、続けてよかったですと思いました。その後も仲間が増え、現在はお互いに教えたり教わったり、活気あるサークルに成長しました。

Mさんとの出会いは私を成長させ、大学生活をより豊かなものにしてくれました。心から感謝しています。

新規設立サークルのご紹介

Wienerwald Musikfreunde

昨年3月に行われた放送大学「第九特別演奏会」の埼玉SC出場者を中心に、茂木先生のサロンに楽器も含めて合唱の練習を始めました。4月に「音楽サークル」を立ち上げ、10月には会運営や会計を明確にすること、広く学内への周知、学外での演奏や、学外からの講師や講演などを目的に、大学の公認サークルとして登録申請し認証されました。その際、サークル名は団員の投票により「Wienerwald Musikfreunde (ウィーンの森の音楽愛好家たち)」としました。練習曲目はモーツァルト、バッハ、シューベルトなどを西洋古典の宗教曲が中心です。今年9月には音楽の都ウィーンでの演奏旅行が計画されています。



舞踏研究会

舞踏研究会は昨年12月に発足したダンスサークルです。本会はダンスが持つ文化的な背景を理解し、その上に立って“自由に楽しく”踊れるようになることを目指しています。そのために次の5つを大切に活動しています。

- ①社交ダンスやフラダンス等が踊れるようになります。
- ②初心者から経験者までダンスの基本に立って学びあいます。
- ③体に不自由を感じる方も積極的に取り組めるダンスを目指します。
- ④ダンスを踊る場や練習する場を提供します。
- ⑤その成果を多彩な方法で発表します。

初心者大歓迎です！まずはお気軽に見学いらして下さい！

連絡先:小林 豊 070-1274-2035
活動日:毎週土曜日13時~17時
講師:男性・女性各1名



2017年度金剛賞受賞コメント

2017年度第2学期で全てのコースを修了し、ご卒業となった皆さんよりコメントが到着いたしましたので、ご紹介します。

金剛賞受賞 岡里 順子

この度の「金剛賞」受賞は光栄です。6コースの学びは、放送大学への入学の希望を不慮の事故で遂げられなかった、「姉の遺志」を継いだからでした。

私が入学して3年目の初夏、義兄を亡くして間もない姉への電話で、少しでも寂さを紛らわせたらと放送大学の話をすると興味を示したので、早速資料を送った。数日後に姉からの「三島の静岡学習センターと伊豆松崎はバス路線があるから、入学を」との電話の向こうの少し弾んだ声は、今でも耳の奥に残っている。しかし、姉は一カ月後の7月に交通事故に遭い、意識を回復することなく、2年半後に帰らぬ人と…。

姉の遺志を継いでの20年間の勉学は、埼玉学習センター職員の応援で続けることが出来ました。感謝しております。



金剛賞受賞 加治原 二仁

定年退職後、美術館で設備管理のアルバイトの仕事に就いた。毎日、仕事柄展示室を巡回して、当然作品も目に入るの、周辺の人に作品はどのように見るのか尋ねたところ、「作品は完成したらみんなのもので、どのように鑑賞しても自由です」との返事であった。

何か基礎的な物の見方、考え方が有るのではと、拡大の選科で、最初5年間放送授業だけ受講した。渡辺二郎先生の「人間の探求」4科目は暖かく厳しい人柄に背中を押されるようなすばらしい講義で強く印象に残り、今も時折テキストを読み返して居る。

その後初めての面接授業で「高齢者福祉」を受講して、受講生同士の真剣な討議を目の当たりにしてレベルの高さに驚き、基本からやり直しと思い、本科に編入した。

全く付き合いの無かったサークルにも入ってそれぞれ異なる価値観、異なる人生を過ごしてきた人たちと、地位もお金も年齢とも全く無縁の、フラットな人間関係で、自己の時空間の位置を確かにするのが教養を学ぶ大きな目的だと思い、放送大学で生涯学習をこれからも続けようと思う。



金剛賞受賞 大野 孝弘

この度は、金剛賞を頂きありがとうございます。

私が、放送大学に入学したきっかけは、歴史の勉強がしたくて人間の探求専攻に入学しました。しかし、仕事をしながら勉強していけるかと不安がありましたが、初めての面接授業や単位認定試験を受け単位を修得出来た時は、とても嬉しく今後勉強を続けていける自信になりました。

卒業後、歴史以外の分野にも興味が出てきて他の専攻やコースの勉強もしたくなり再入学を繰り返し、今回6つ目の専攻・コース卒業となりましたが、入学時には全く想像していなかった事で、自分でも驚いています。

今後も、自己啓発のために勉強は続けると共に、放送大学で学んだ事を色々な分野で役立てたいとも思っています。



Congratulations!

生涯学習奨励賞受賞者（順不同・敬称略）

- 金剛賞 大野 孝弘、岡里 順子、加治原 二仁、田中 修
金 賞 榊 由美、金坂 祐爾
銀 賞 朝比奈 啓右、木須田 勲、橋本 和子
銅 賞 板山 正美、小堺 浩、高橋 秀雄、篠田 朱美、飯島 康男、相川 智子、池田 純夫、秋谷 千恵子、木下 恵里子、藤田 武敏、齊藤 照夫、天田 徹

入学者の集い

2018年4月7日(土)146名の新入生の皆さんが参加され2018年度第1学期の『入学者の集い』が埼玉学習センターで行われました。

当日は放送大学本部よりTVクルーが入り、撮影もありました。この模様は『大学の窓』で放送されています。同動画は下記URLよりご覧いただけます。

<http://www.ouj.ac.jp/hp/eizou/mado/tv/>



客員教員より着任のご挨拶

着任のご挨拶

神庭 純子 (かみにわ じゅんこ) 先生

皆さん、はじめまして。私は、現職は西武文理大学看護学部の教員です。看護師や保健師を目指す学生たちの学部教育に携わっています。私自身は教育学部を出た後に看護学部を目指し、保健師の実践を経て大学の教員になったこともあり、看護学、特に公衆衛生看護や家族看護を専門としながらも、看護教育そのものについても関心をもって究明しています。

看護の原点はナイチンゲールにあるとの思いから、ナイチンゲールの言葉に現代の看護の在り方を重ねて説いてきています。ナイチンゲールは「進歩というものとは次の進歩への一歩」であり、そうでなければ「退歩していることにもなりかねない」として、変化する社会において日々学び続けることの重要性を指摘しています。

先日、放送大学埼玉学習センターでの入学者の集いに参加させていただきました。学生の皆さんの様子から学びに向き合う真摯な姿勢を感じ取り、生涯にわたって学び続けるその姿勢に敬服しつつ、私自身も新たな一歩を踏み出したいと思える新鮮な気持ちになりました。着任後間もないためまだわからないことばかりですが、放送大学の学生の皆さんの学びたい思いを尊重しながら共に成長することができればと思っています。

どうぞよろしく申し上げます。

心理学って、何がわかるの？

梶原 直樹 (かじはら なおき) 先生



みなさんは、心理学というと、どのような学問を想像しますか。大学の科目の中では、比較的、考えやすい方がありませんね。でも、実際には、イメージが、かなり一人歩きしています。ほくは、大学で、概論の最初の授業のときに、簡単な心理テストをやります。たとえば、ほくとジャンケンしようといって、はい、ジャンケンポン。実は、とっさに何を出したかで、自分では気づいていない、性格の深層・本質がわかるんだよ、というようなものです。

ちなみに、グーは石頭の頑固者、チョキは自己愛のナルちゃん、パーはすべて人任せのコバンザメ、になります。でもほんとうは、そんなこといえるはずがありません。ただの思いつきで作ったものですから。ところが、性格や恋愛のこととなると、男女を問わず、異様に盛りあがります。こんなことがどうして信じられるのか、びっくりするほどです。

この手の心理テストは、いろいろありますが、すべて、心理学とはまったく関係がありません。心理学は、理屈と証拠にもとづいて、答えを求めようとします。単なる想像や、勝手な解釈から思いついたものは、答えとはいえません。なのに、人は、それらしいものがあると、すぐに飛びついてしまいます。

心理学のいちばんの敵は、人のこころなのかもしれません。

客員教員挨拶

米川 聖美 (よねかわ さとみ) 先生

埼玉学習センター長渋谷治美先生にお声をかけていただき、客員教員としてこの4月から皆様とご一緒に活動させていただきますことを、とても光栄に存じます。

当センターでは、面接授業で13年前から「英文学への誘い」、「実践英語」、「医療英語」、「英文法」などを担当させていただいております。日頃より熱心に勉学に取り組んでいらっしゃる学生の皆様や、迅速かつ温かなご対応をいただく職員の方々とご一緒できますことは、私にとりまして有意義で楽しい時間です。

多様な世代の学生さん方からなる放送大学の授業は、様々な意見が飛び交い大きな刺激の輪が広がります。そして人生100年といわれる時代にあって、「如何に有意義な人生を送るか」という哲学的な問題にも大きなヒントがいただけるように思います。現役を退いた後でも、これまでの経験とは異なった分野を学びたいと思ったときに、放送大学では本物の深い学びを受けることができるのですから。

私の専門は19世紀のイギリス文学です。皆様とご一緒に英文学や当時の文化についてディスカッションしたり、また皆様のお役にたてるようなアドバイスができれば嬉しく存じます。どうぞよろしく申し上げます。



客員教員より退任のご挨拶

お別れの辞

川島 絹江 先生

放送大学埼玉学習センター客員教授として5年間、あっという間に過ぎてしまいました。最初は東京成徳短期大学教授との兼務でしたが、定年退職後、本務となりました。様々な年齢の方、様々な人生を歩まれた方が熱心に学ばれている姿に感動しました。

長年、『源氏物語』と日本文化を研究してきましたので、いろいろな面接授業をさせていただきました。どの授業も皆さん、真摯な態度で受講され、私も多くのことを学びました。教養学部であることがいいですね。バランスよく、理系も文系も芸術も情報処理も分野を越えて、人間としての教養を学ぶって大切なことだと思います。いろいろな分野の方が『源氏物語』に関心を持ってくださって、思いがけない視点で質問して下さることもありました。とても楽しかったです。

一方で、学ぶ姿勢ができていない人、マナー違反をする人、それに気づかない人もいて、悲しくなりました。例えば、自費で収集した貴重な写本を面接授業「日本文化探訪」の中でお見せし、写本の扱い方もお話したはずが、聞いていなかったのか、目を離れた際に平然と表紙の1辺をつまみ上げ、自分の手元に引き寄せた人がいました。冷や汗が出て、今後持ってくるのはやめようと思いました。ある高齢の受講者が授業中、大声で勝手な発言をすることもありました。放送大学は大学ですから、大学で学ぶことがどういうことが自覚することが必要ですね。

センター長渋谷先生のお薦めで『源氏物語』の講演会を2年続けて行い、多くの受講者をお迎えできたことも思い出深いことです。大変有り難く存じております。

機会がありましたら、また『源氏物語』や琴の授業をさせてください。

貴大学のますますのご発展を祈念してお別れの辞といたします。

〔2018年3月25日記〕



「埼玉学習センター客員教員の5年間を振り返って」

高野 みどり 先生

任期を終えるにあたり、5年間を振り返ってみると、学生さんからは多くの学びを得ました。

また、楽しい職場でありました。何より、入学者の集いや学位授与式では、いつも襟を正させられました。と言うのは、学位記を手にした学生は、個々の人生を物語ってくれます。私自身の人生を重ねて見たものでした。

式の中で同窓会の皆様参加で学歌が歌われます。学歌「われらはまなぶ 世界を 自分を」「まなぶのは たのしみ」とあります。学習センターで過ごされる皆様の姿は、学歌そのもののように見えました。特に埼玉学習センターには、「学習奨励賞」があり、全てのコースを修了され金剛賞を手にする学生さんも数多くいます。

更に、「見えない友と 共に生き 共にまなぶ」とありますが、放送大学の強みでもある全国にある学習センターの面接授業やサークル・客員教員の行う「サロン」には、全国何処からでも自由に参加できます。実際にサロンたかの「こころのオアシス」には、遠隔地の金沢や大分からも学友の誘いで参加されていました。そして、ラインで繋がり試験の出題傾向や授業内容の情報を得て履修を進めています。

学生は、各地の学習センターの情報を得て、サークル活動に活発に参加されています。「親しい友と 語り合い まなぶ」を正に実現しています。

放送大学の特徴を生かした学びを、更に多くの人々に知って頂き豊かな人生を送って欲しいと願うものです。サロンたかの「こころのオアシス」は続きます。ご参加下さい。



退任のご挨拶

渡邊 賢治

前事務長の渡邊でございます。

4月から埼玉大学国際室へ異動となりました。皆様にはこの3年間、大変お世話になりました。

埼玉学習センターに赴任した当時、学習環境、立地条件など本当に素晴らしいと感じたことが、今では懐かしく思えます。また、何と言っても学生さんの熱心な勉学の様子、積極的なサークル活動などが強く印象に残っております。

そう言った中での事務対応として、常に学生さんの立場に沿ったものをと心がけておりましたが、至らないことも多々あったものと存じます。

今後は、職務に限れば、直接の繋がりはなくなりますが、公開講演会等機会があれば、埼玉学習センターを訪問できればと思っております。

末筆ではありますが、学生の皆様方のご健勝とご活躍、CSC交流会、同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

着任のご挨拶

岸 隆一



はじめまして、4月1日に事務長として着任しました、岸隆一と申します。前任は埼玉大学で、2004年・2005年の2年間を除いて2001年から15年、入試・教務・大学全体の教育等に携わっておりました。放送大学と初めての出会いは、1987年頃(30年も前!)、日本国憲法を学習するための「国家と法Ⅰ」(芦部信喜教授)の聴講でした。その後いくつかの授業を聴講させていただき、そのレベルの高さと面白さに興奮したことを思い出します。(最近も「日本政治思想史」原武史教授を読みました。)

このようなレベルの高く面白い授業を受講される受講生の皆様の多くは、人生の大先輩と聞き及んでおります。

受講サポート等をしっかりさせていただくとともに、サークル活動等で様々な教えをいただけるのではないかと大変楽しみにしております。好きな台詞があります。「真実を語れ、あとは相手の問題となる」(マイケルクライトン&ショーンコネリーかな)

昨今、真実を語れない方が多い。放送大学で学ぶと真実を語れると思います。どうぞよろしく願いたします。

2018年4月より放送教材（CD、DVD等）の貸出方法が変わりました

- ① 申込書を放送大学本部へ送る
 - i.  郵送→申込書と送料分切手をポストへ投函
 - ii.  FAX→申込書をFAXで送信
 ※申込書は『学生生活の栞』巻末の様式集内「様式19」をご利用ください。
- ② CD・DVDが届く
 同封されている返送期限日をチェック！
 ※貸出期間は『教材がお手元に届いてから9日間』ではありません。送られてきたCD・DVDに同封されている返送期限日を確認の上、期限までに届くよう、返送日にご注意ください。
- ③ CD・DVDを返す
 - i. 郵送申込→送られてきた封筒に、申込書下欄の返送用住所部分と送料分の切手を貼ってポストへ。
 - ii. FAX申込→送られてきた封筒に、申込書下欄の返送用住所部分と送料分切手を貼り、**送付時の切手も同封し**、ポストへ。



借り方の詳細は『学生生活の栞』のP.33~34をご参照ください

学生証の交付はお済みですか？



2点を窓口にお出しください



1学期の単位認定試験の際には携帯が必要となります。お時間のある時に学習センターへお立ち寄りください。
 写真登録が完了していれば、即日で交付できます。

放送授業

通信指導の提出をお忘れなく！

-  郵送 ⇒ 2018年5月24日(木)～6月7日(木)
 ※期限日までに本部必着です。消印の日ではありませんので、ご注意ください。
-  Web ⇒ 2018年5月17日(木)～6月7日(木)午後5時まで

【Point】

- ・郵送の際には問題ページと自習型問題ページを切り取り、手元に保管しておきましょう。後日、解答と共に自習型問題の解答&解説も届きます。単位認定試験までの勉強にご活用ください。
- ・Webから提出された場合、提出と同時に解答もわかりますが、後日あらためて解答と自習型問題の解答&解説も届きます。Webからの提出は下記URLからログインの上、進んで下さい。
 ⇒⇒ <https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

サロンのご案内



※今後もさまざまなサロンを企画しております。
日程決まり次第、随時お知らせしていきますので、どうぞ楽しみに♪

サロンしばや

2018年度テーマ：シリーズ『シェークスピアを楽しむ』

第1回目	2018年 7月11日 (水)	『ハムレット』	第1講義室
第2回目	2018年 9月12日 (水)	『じゃじゃ馬馴らし』	第6講義室 (8F)
第3回目	2018年10月10日 (水)	『リチャード三世』	第1講義室
第4回目	2018年11月14日 (水)	『お気に召すまま』	第1講義室
第5回目	2019年 1月 9日 (水)	『リア王』	第1講義室

※ご都合のつく日、1回からでもご参加いただけます！

サロンながさわ

2018年 6月9日 (土) 多目的室 (8F)

※テーマは決まり次第、埼玉学習センターHPにてお知らせいたします。

URL: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/about/open.html>

2018年度 公開講演会のご案内



※今後、新たに開催される公開講演会につきましては詳細決定次第、HP等でお知らせいたしますので、ご確認の上奮ってご参加ください。
公開講演会のお申込は開催日の約1ヶ月前からお電話又は学習センターHPより受付を開始いたします。

リクエスト・シリーズ(全3回)

日程	講演題目	講師	
2018年 6月16日(土)	監査役監査の現状と課題	吉森 賢 齋藤 正章	横浜国立大学名誉教授 放送大学准教授
2018年 7月 7日(土)	地域における子育てシステム(仮)	関 美雪	埼玉県立大学准教授
2018年10月14日(日)	いのちを考える-バイオエシックス(生命倫理)を手がかりに-	木村 利人	早稲田大学名誉教授

フェアウェル・シリーズ(全5回)

日程	講演題目	講師	
2018年 6月23日(土)	無常観をめぐって-私の学問遍歴-	渋谷 治美	放送大学 埼玉学習センター所長
2018年 7月22日(日)	イギリスにおける鉄道事情見聞録 -30年通って見てきたこと-	安藤 陽	放送大学 埼玉学習センター客員教授
2018年10月21日(日)	細胞膜研究とヒト脳の神経新生を読み解く	半本 秀博	放送大学 埼玉学習センター非常勤講師
2018年12月16日(日)	心理テストの限界と奥深さ-ソディ博士に魅せられて-	吉川 好昭	放送大学 埼玉学習センター客員教授
2019年 2月16日(土)	錯体の化学は世紀を超えて	永澤 明	放送大学 埼玉学習センター客員教授

芸術アンコール・シリーズ(全4回)

日程	講演題目	講師	
2018年 9月 9日(日)	新発見の遺物からみた、中国文化史	大橋 修一	川口短期大学教授
2018年 9月30日(日)	「表現する」とはどういうことか? -アール・ブリットを手がかりに-	小澤 基弘	埼玉大学教授
2018年11月11日(日)	バッハとシューマンの音楽世界-象徴と感情-	茂木 一衛	放送大学 埼玉学習センター客員教授
2019年 2月10日(日)	歌い手の四方山話-声楽家が見た音楽風景-	福井 克明	声楽家・合唱指揮者

2018年度学生研修旅行のご案内

今年度は秋の箱根路、『星の王子さまミュージアム』と『ポーラ美術館』を訪れ、芸術に触れる研修旅行を予定しています。

日程は以下の通りで、近日申込みを開始する予定です。

申込日程等詳細は後日学習センターに掲示の上、HPにも掲載する予定です。

皆さんからの応募をお待ちしています♪

※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

【概要】

日 程： 2018年9月26日(水)

時 間： 7:30~18:00頃(予定)

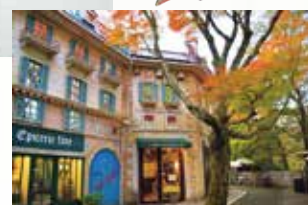
目的地： 箱根『星の王子さまミュージアム』および
『ポーラ美術館』

交通手段： Jack大宮ビル(埼玉学習センターのあるビル)前より貸切バス

定 員： 40名

費 用： 昼食代 等

※また、学生教育研究災害傷害保険(100円)と通学中等傷害危険担保特約(40円)の加入をお願いしております。



2018年度埼玉フェスタ開催決定!

今年も埼玉フェスタの開催が決まりました!

2018年度の埼玉フェスタは埼玉学習センター8F、9Fにて以下の日程で開催されます。

【概要】

日 程： 2018年9月15日(土)および16日(日)

催し物(例)： 音楽喫茶、ジャズコンサート、絵画・写真等の展示、歌ひろば、朗読劇、
バザー、ダンス発表会、映画上映会 等々

参加型の催し物も盛りだくさん!ご家族、ご友人をお誘いあわせの上奮ってご参加ください!

※賛助券のご購入が必要なイベントもございます。詳細は後日HPに掲載いたしますのでご覧ください。



特別企画!

人生百年時代を迎えて、芸術的な制作活動により、埼玉学習センターがいっそう文化の香り豊かな学びの場となるよう、本講習会を企画いたしました。皆様、ふるってご参加ください!

ガラス工芸・特別体験講習会 色鮮やかなスタンドグラス作りを楽しむ 「Part I 入門編」「Part II 中級編」

Part I (定員20名)

第1回目 2018年6月17日(日) / 第2回目 2018年6月24日(日)

時間・場所(両回とも) 11:00~12:00、13:00~16:00 於8F実験室

Part II (定員20名)

第1回目 2018年10月28日(日) / 第2回目 2018年11月4日(日)

時間・場所(両回とも) 11:00~12:00、13:00~16:00 於8F実験室

参加者資格：放送大学埼玉学習センター所属学生ないし埼玉同窓会会員(ご家族で参加希望の場合は別途ご相談ください)

申込締め切り：(Part Iのみ、またはPart IとPart IIの両方を希望の方)6月10日(日)17:00

※Part IIのみの申込開始日は別途掲示等いたします。

参加費用：Part I 5,000円 / Part II 15,000円(予定)

※お申込用紙は埼玉学習センター窓口にあります。詳細な内容につきましては、申込用紙をご確認の上、お申ください!